

1. 調査報告概要表

作成日 平成21年3月23日

【評価実施概要】

事業所番号	1070500887
法人名	医療法人社団田口会
事業所名	グループホーム コアラ
所在地	群馬県太田市飯塚町63-1 (電話) 0276-30-3011

評価機関名	サービス評価センターはあとらんど
所在地	群馬県前橋市大友町2-29-5
訪問調査日	平成21年3月17日

【情報提供票より】(21年1月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 18年9月1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	9 人 常勤 9 人, 非常勤 0 人, 常勤換算 9

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	1階建ての 階 ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	400 円	昼食	400 円
	夕食	700 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要 (1月31日現在)

利用者人数	8名	男性	1名	女性	7名
要介護1	1名	要介護2	2名		
要介護3	1名	要介護4	4名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 83.5歳	最低	75歳	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 慶仁会 城山病院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

このホームは管理者を初め若いチームであるが、ケアサービスの質の向上を目指し、常に全員で話し合いながら前向きな姿勢で取り組んでいる。職員はゆとりある姿勢でサービス提供に努め、尊厳ある対応に留意しながら一人ひとりにゆとりと対応し、無理強いをしないことを心がけている。利用者一人ひとりが穏やかでゆとりとした生活を送られている様子が感じられた。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>①地域密着型サービスとしての理念は見直しをされているが、地域を意識した理念にはなっていない②地域とのつきあいは積極的に取り組んでいる③運営推進会議を活かした取り組みは定期的(2ヵ月に1度)に開催をしている④市町村との連携は市と連携をとり、サービス向上に取り組んでいる⑤現状に即した介護計画の見直しは毎月モニタリングを実施しているが、定期的見直しは長期間に設定されている⑥プライバシーの確保の徹底は法人でマニュアルを作成し、職員に教育されている⑦災害対策は地域の方に協力依頼はされていない。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価の意義や目的を伝え、全員で自己評価に取り組むようにしている。外部評価の結果を踏まえ、職員会議で改善に向けて話し合い、実践に繋げるための努力をしている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>定期的に開催をしている。家族には全員案内を出し、都合のつく家族に参加してもらっている。事業所から利用者、活動状況等の報告を行い、意見や要望等をもらうようにしている。そこでの意見や要望・情報は運営に反映させるようにしている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>運営推進会議に参加をしてもらい、意見や要望を聴いたり、家族等の来訪時には話しやすい雰囲気づくりに留意している。出された意見、要望は職員会議で話し合わせ、反映させるようにしている。また、意見箱も設置してある。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会に加入しており、広報誌等が配布されている。散歩時に挨拶を交わし、野菜や果物を戴くこともある。民生委員やペット連れの散歩者が立ち寄っている。餅つき大会、小・中学校の行事、ふれあいサロンやいきいきサロンへの参加など、利用者と職員は積極的に出向いて地域との交流を図っている。</p>

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	サービスのあり方を解りやすく示した事業所独自の理念を掲げているが、地域との関係性を重視した地域密着型サービスとしての理念をつくりあげていない。	○	地域密着型サービスの意義を職員全員で確認し、「地域の中でその人らしく生活することを支えるケア」を具体的にイメージして、事業所独自の理念を掲げてほしい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を職員会議や食事会で話し合っている。管理者と職員は理念を具体化していくことの統一をしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており、広報誌等が配布されている。散歩時に挨拶を交わし野菜や果物を戴くこともある。民生委員やペット連れの散歩者が立ち寄っている。餅つき大会、小・中学校の行事、ふれあいサロンやいきいきサロンへ参加など、利用者と職員は積極的に向かい合い地域との交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価の意義や目的を伝え、全員で自己評価に取り組むようにしている。また、外部評価の結果を踏まえ、職員会議で改善に向けて話し合い、実践に繋げるための努力をしている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的(2か月に1度)に開催をしている。家族には全員案内を出し、都合のつく家族に参加してもらっている。事業所から利用者状況や活動状況等の報告を行い、意見や要望等をもらうようにしている。そこでの意見や要望・情報は運営に反映させるようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当窓口に出かけ相談したり、助言や指導等を受けて、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族等の来訪時には、利用者の生活の様子や健康状態について報告をしている。また、電話でもしている。毎月、「コアラ」新聞を発行し送っている。家族会もあり、年1回クリスマス会に合わせ開催している。4月からはコアラ新聞とアンケートを発送する予定となっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に参加してもらい、意見や要望を聴いたり、家族の来訪時には話しやすい雰囲気づくりに留意している。出された意見、要望は職員会議で話し合わせ、反映させるようにしている。また、意見箱も設置してある。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職を必要最小限に抑える努力をしている。異動や離職がやむを得ない場合も、引継ぎの面で努力し、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。入職者には、全職員で事業所に馴染めるように支援をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内研修はもとより、外部研修にはなるべく多くの職員が受講できるようにしている。また、それらの研修報告は職員会議で行い、資料は全職員が閲覧できるようにしている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着型サービス連絡協議会に加入し、研修や情報交換で交流を図っている。東毛ブロック相互交流に参加し、サービス向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人と家族に見学をしてもらっている。一緒にお茶をしながら雰囲気馴染めるように配慮している。病院や施設を訪問し顔なじみになる努力をしている。また、宿泊体験をもらい馴染めるように配慮している。入居してからは、家族との連携を密にし面会や馴染みの物を持ち込み安心して過ごせるようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は人生の先輩であるという考えを職員が共有しており、日常の生活場面で野菜の栽培方法、漬物、縫い物、食事の仕込み等教えられることが多い。共に過ごし支えあう関係づくりに留意している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の中で本人とのコミュニケーションを大切に、思いや意向を把握するように努めている。家族等からも情報を得るようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族には日頃のかかわりの中で、思いや意見を聴いて、反映させるようにしている。また、家族には電話等でも聴くようにしている。毎月モニタリングを行い、職員会議で話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映させた利用者本位の介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しは6ヶ月に1度と随時、状態の変化に応じて行っている。	○	本人および家族の状況は変化するため、現状と介護計画がかみ合っていない状況がおきがちである。要望や変化が生じた場合には、実情に応じたケアに繋がるように、短期間の介護計画の見直しが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、家族の状況に応じて、通院介助、送迎、買い物等必要な支援は柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時に、本人、家族に説明を行い希望するかかりつけ医になっている。また、受診や通院は本人や家族の希望に応じて対応している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人や家族の意向を踏まえ、状態の変化に応じ、家族との話し合いのもと、意向に沿った支援をしている。	○	事業所として、重度化した場合や終末期のあり方、対応について、できるだけ早期から話し合いの機会を作り、関係者全体の方針の統一を図っていくことが大切と思われる。事業所として対応しうる方針を文書化し、本人、家族に説明を行い関係者で方針の共有を図ることが望まれる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねる言葉づかいや対応には留意し、人権の尊重に努めている。個人情報に関する書類等はきちんと保管し、取り扱いは厳重にしている。法人として個人情報保護法のマニュアルは整備され職員教育もしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間や買い物、散歩等一人ひとりの状態や思いに配慮し、利用者のペースに沿って見守りながら支援をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と一緒に野菜の栽培、収穫、調理、配下膳、テーブル拭き、お絞りの準備等利用者と職員と一緒にしている。職員と利用者が同じテーブルを囲んで楽しく食事ができるよう雰囲気づくりも大切にしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には週3回であるが、職員が一方的に決めず、利用者のその日の希望や時間を確認して入浴をしてもらっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	野菜の栽培、テーブル拭き、掃除、配下膳、お絞りの洗濯物たたみ、ドライブ、散歩、買い物、花見、公園、ピクニック(お弁当持参)、神社へお参り、小・中学校の文化祭、ボランティア等で役割・楽しみごと、気晴らしの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候や本人の状態に応じて、散歩、買い物、ドライブ、公園、敷地内でお茶をする等で、季節を肌で感じてもらい、心身の活性につながるよう支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵をかけることの弊害を理解しており、利用者が外出しそうな様子を察知したら、止めるのではなくずっと見守りながら後から付いて行くようにしている。日中は玄関の鍵をかけずに自由な暮らしを支援している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て、年2回利用者とともに避難訓練を行っている。地域の方への協力依頼はまだなされていない。	○	災害はいつ、どの時間帯に起きるかわからない。職員だけの誘導にも限界があり、利用者の安全確保のためにより多くの人の手助けが必要となる。今後は地域の人々に協力を求める取り組みが望ましい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取状況のチェックを行い、記録し、職員が情報を共有している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	敷地内に畑があり、野菜の成長をガラス越しに見ることが出来る。ホールや廊下に椅子が設置されている。壁には行事の写真が貼られている。思い思いの場所で居心地よく過ごせるよう配慮されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビ、整理ダンス、冷蔵庫、お茶道具、加湿器、ぬいぐるみ、テーブル、買い物かご、家族写真等、一人ひとりの好みや馴染みの物が持ち込まれ、居心地の良さに配慮している。		